

黒羽刑務所 インフォメーションパッケージ

令和4年2月
法務省

◎問い合わせ先

法務省矯正局成人矯正課官民協働企画係

〒100-8977 東京都千代田区霞が関1-1-1

TEL : 03-3580-4111(内線2557)

FAX : 03-3592-7393

刑務所跡地活用のRFI実施の背景・目的

背景

国：黒羽刑務所・法務省

- 近年の受刑者数減少により、現在の収容者数は全刑務所施設の定員に対して6割弱
- さらに「施設の老朽化」等の理由により、受刑者の集約と刑務所廃庁の動きも
- 黒羽刑務所は2022年3月末に廃庁することが決定
- 法務省ではこれまで、地域や民間企業と連携した再犯防止や地域再生に資する取組・活用を実施
- 今後は、刑務所の余裕施設や跡地を活用することで上記の取り組みを加速させ、更なる再犯防止・地域再生への取り組みを推進



自治体：大田原市及び周辺エリア

- 人口減少・産業衰退・若者の流出スパイラル
- 上記に伴い増加する遊休農地や廃校等の活用ニーズの増大
- 若者等が働ける安定した雇用の創出に向けて新たな事業創出・循環型社会に向けた取組

メガトレンド：循環型社会

- 大量生産・大量消費からの脱却
→持続可能な循環型社会（有限な資源を有効活用）
→生産消費者の育成（一人あたりの生産性を向上）
- 上記関連の取組（スタートアップ企業等）が増加
- 金融機関や投資家も循環型経済等を重視した投融資基準を模索中

目的

社会課題解決に向けた国・自治体・企業等の取組やニーズを踏まえ、各取組の更なる発展・ブレークスルー等に貢献する形で黒羽刑務所跡地等の活用を探る。

今回のRFIの対象エリア

- ✓ 大田原市では、少子化に伴い複数の小・中学校の統廃合がなされており、建物を含む跡地の利活用が検討されている。
- ✓ 利活用方針が未定となっている旧須佐木小学校と黒羽刑務所跡地について、活用方針を検討する。

旧寒井小学校

- ・黒羽刑務所より1.7km

黒羽刑務所

旧両郷中学校

- ・黒羽刑務所より5.6km
- ・大田原市芸術文化研究所として利活用

旧蜂巢小学校

- ・黒羽刑務所より4km
- ・障害者の就労支援の一環でヒカリノカフェとして活用

旧川西中学校

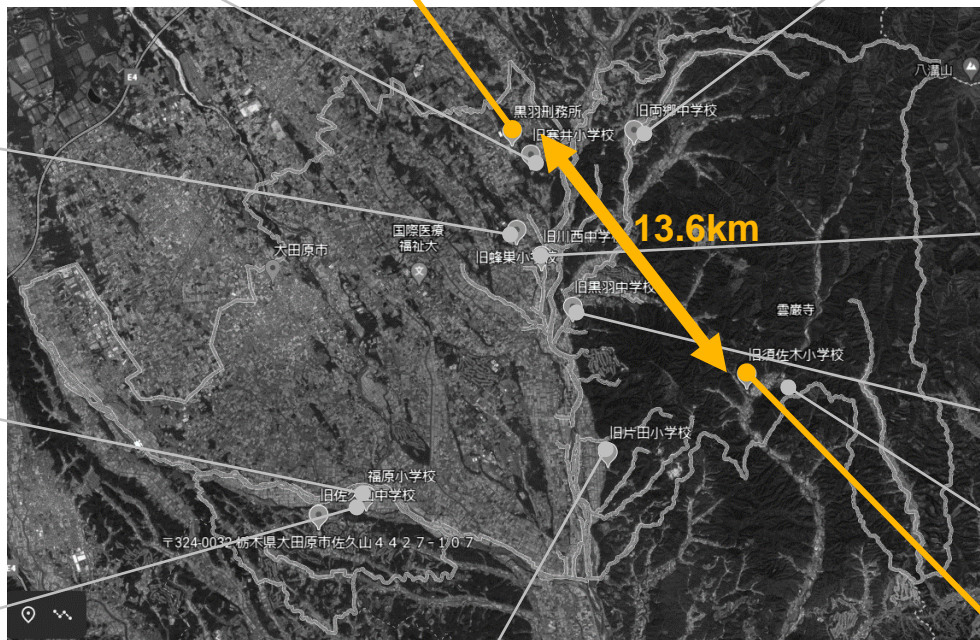
- ・黒羽刑務所より5km
- ・障害者の方の作業所として活用。イチゴ栽培の植物工場や精米事業所として活用

旧福原小学校

- ・黒羽刑務所より16.2km
- ・2020年3月に閉校

旧黒羽中学校

- ・黒羽刑務所より7.4km
- ・大田原森林組合で借用



出典：Google Map上に追記

旧佐久山中学校

- ・黒羽刑務所より18.7km
- ・一般社団法人が放課後等デイサービスの事業所として活用。

旧片田小学校

- ・黒羽刑務所より12.3km

旧須佐木小学校【活用方針未定】

- ・黒羽刑務所より13.6km
- ・過去に市が市有財産活用民間提案制度で活用アイデアを募集。

黒羽刑務所跡地施設概要

- ✓ 黒羽刑務所の敷地面積は全体で約20ha
- ✓ 大規模な屋内空間に加え、外塀（黄桮）を有し、広大な運動場、公認運転コースもあり、多様な活用が可能
- ✓ 優れた土壌や質の高い水を組み入れられる井戸等も有する

設備環境等：電気、井水、浄化槽、プロパンガス（庁舎・宿舍・炊場）

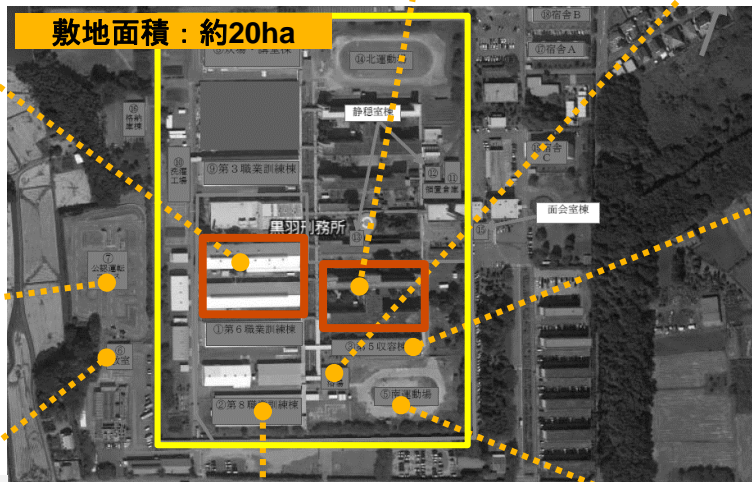
【建物跡地2】面積：約5,500㎡
※現在は更地

【浴場棟】延床面積：219㎡



【建物跡地1】面積：約5,800㎡
※現在は更地

敷地面積：約20ha



【第5収容棟】延床面積：1,684㎡



【公認運転コース】面積：約7,300㎡



【教室棟】延床面積：200㎡



【第8職業訓練棟】延床面積：1,769㎡



【南運動場】面積：約7,000㎡



外部環境（立地条件・アクセス）

- ✓ 黒羽刑務所が位置する大田原は、総面積の約半分が田畑からなる自然豊かな地域
- ✓ 黒羽刑務所へのアクセスは那須塩原駅や大田原市中心部から約10km

立地条件

- 栃木県北東部に位置する市
- 市の中央を流れる那珂川や八溝山系の里山など自然豊かな地域
- 総面積35,436ヘクタール
- 田10,203ヘクタール
- 畑1,256ヘクタール



アクセス

- 大田原市是那須塩原駅から約8km、宇都宮駅から約40km。宇都宮からは車で1.5時間程に位置。
- 黒羽刑務所是那須塩原駅から約10km、大田原市中心部から約11kmの場所に位置。
- 那須I.C.から約15km（車で約20分）



出典：Google Map上に追記

内部環境（対象となる土地及び建物）

✓ 黒羽刑務所の跡地活用対象として想定している主な土地及び建物は下記の通り。

大項目	小項目	面積(m ²)	階数	構造	竣工年
建物	第8職業訓練棟	1,769	1	S-1	H14.11
	第5収容棟	1,684	2	RC-2	H14.11
	浴場棟	219	1	RC-1	H14.11
	教室棟	200	1	S-1	H20.2
土地	南運動場	約7,000	-	-	-
	運転コース	約7,300	-	-	-
建物跡地 (更地)	建物跡地 1	約5,800	-	-	-
	建物跡地 2	約5,500	-	-	-

各所イメージ

①第8職業訓練棟（外観）



②第5收容棟（外觀）



③浴場棟（外観及び内観）



④南運動場



⑤教室棟（外観及び内観）



⑥運転コース

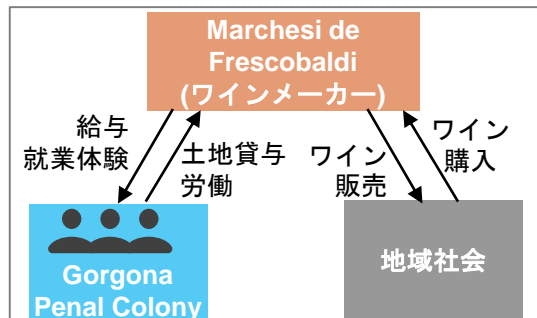


刑務所との協働事例：Gorgona Agricultural Penal Colony

- ✓ 開放的な刑務所生活での、地域資源の価値向上に繋がるブドウ栽培・ワイン醸造の就業体験と給与給付によって持続可能な受刑者の矯正事業を実現

事業概要

刑務所	Gorgona Agricultural Penal Colony (重罪犯向けの孤島の刑務所)	
支援企業	Marchesi de Frescobaldi	
所在地	イタリア・トスカーナ州	
事業期間	2011年～現在	
事業内容	所内敷地にて有名ワインメーカーより、新たな将来を築いていくために活かせる技能を学び社会復帰を目指す	
プログラム内容	ブドウの栽培とワインの醸造技能の習得と実践	
参加受刑者数	約15人	



受刑者がブドウを栽培している様子



ゴルゴーナ島で醸造されたワイン

事業の特徴

受刑者の矯正を実現

- 開放的な刑務所生活と就業体験による報酬の給付で再犯率20%を実現
 - *イタリア国内平均80%
 - 所内では、日中自由な場所で過ごす事が許可されている
 - 受刑者のブドウ栽培等の就業に対して、一般労働者と同額の給与が支払われる

地域への貢献を実現

- 所内の豊かな自然と気候を活用し、ブドウを栽培することで貢献
 - トスカーナ群島の一つであるゴルゴーナ島のワイン造りに適した土地を活用しワインを醸造することで地域資源の価値向上に貢献している

事業の持続を実現

- 所内のワイン造りに適した土地にて醸造されたワインは高品質
 - ゴルゴーナ島のワイン造りに適した土地を借用し、ローマ法王やイタリア大統領、首相にも献上実績のある質の高いワイン（ボトル約66\$）を産出している

出典：Frescobaldi HP, Decanter "Gorgona: The wine made by prisoners"

刑務所との協働事例： Mendocino County Jail

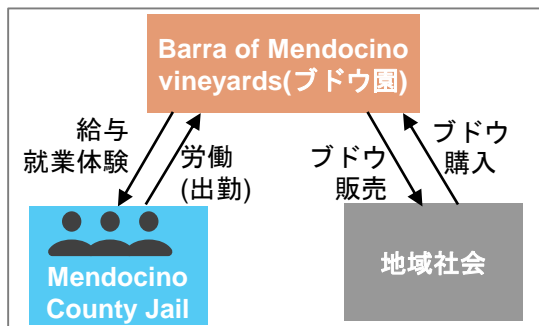
- ✓ 持続可能で地域資源を活用したブドウ収穫プログラムを通じて、
受刑者の労働に対して報酬を給付し、社会復帰を支援する矯正事業を実現

事業概要

刑務所	Mendocino County Jail
支援企業	Barra of Mendocino Vineyards
所在地	アメリカ・カリフォルニア州
事業期間	不明
事業内容	リスクの低い選ばれた受刑者が、 刑務所近くのブドウ園にて就業経験を 積み、社会復帰を目指す
プログラム 内容	ブドウの収穫 (足にGPS監視装置を装着)
参加受刑 者数	約4人



受刑者がブドウを収穫している様子



事業の特徴

受刑者の 矯正を 実現

- 労働に応じた報酬の給付や出所後の雇用等、社会復帰を支援
 - 約4人の選ばれた受刑者は、一日の労働に対し250～350ドル受け取り、出所後の仕事・家探し等の社会復帰に使用できるよう貯蓄される
 - 出所後ブドウ園で雇用される者もいる

地域への 貢献を 実現

- ワイン名産地でブドウを収穫し地域資源の活用に貢献
 - 刑務所が位置するMendocinoはワインで有名な地域で、ワイン造りに欠かせないブドウの収穫を行うことで地域資源の活用に貢献している

事業の 持続を 実現

- 労働力不足に直面している事業者への労働力提供
 - 給料が低く重労働で人気のないブドウ収穫作業を受刑者が担うことで、労働者不足に悩むブドウ園から大変好評を得ている

出典：Atlas Obscura "The Mendocino Vineyard Where Inmates Pick the Grapes", the Press Democrat "Mendocino Jail Inmates Work In Vineyard"

刑務所との協働事例：HMP Erlestoke

- ✓ 持続可能で地域活性化に繋がる野菜等の栽培と販売等のプログラムを通じて、受刑者の労働に対して報酬を給付し社会復帰を支援する矯正事業を実現

事業概要

刑務所	HMP Erlestoke
支援団体	Erlestoke Social Enterprise
所在地	イギリス・ウィルトシャー州
事業期間	2007年～現在
事業内容	所内の菜園・刑務所付近の生産拠点での共同作業を通じて受刑者の社会復帰を目指す
プログラム内容	園芸・陶器・ビジネス・廃棄物処理技術の職業訓練と野菜・花卉・手芸品等のコミュニティストア等での販売
参加受刑者数	約100人



地域で開催されているコミュニティストア

事業の特徴

受刑者の矯正を実現

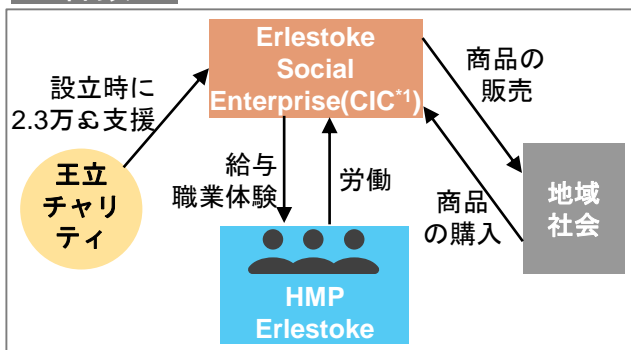
- 受刑者の労働に応じて報酬を給付し、社会復帰を支援
 - 各受刑者の処遇計画に組み込まれた職業訓練を通して、週7日の労働の内、約4.5日分の報酬を受け取る。報酬は信託基金に貯蓄され、社会復帰支援に使用される

地域への貢献を実現

- 地域で生産した野菜・花卉・手芸品等を販売することで地域活性化に貢献
 - 造園事業による野菜や花卉・グリーティングカード・アート・家具等をコミュニティストア等で販売し地域活性化に貢献している

事業の持続を実現

- 独立採算型の事業
 - 4万£の年間収入は、団体の営利活動であるコミュニティストアでの販売・企業への物販のみで構成されており、刑務所庁から直接運営資金の交付を受けていない



出典: Erlestoke Prison HP, Durham University 「The Impact of Social Enterprise on Reducing re-offending」, BBC NEWS "Erlestoke prison's Farm Shop"
 CIC*: "Community Interest Company"の略で利益を地域の社会的課題の解決に向けて投下することを目的とする。資産と利益は必ず地域の利益に還元されることが要求される。

刑務所との協働事例：サウスヨークシャー州刑務所群

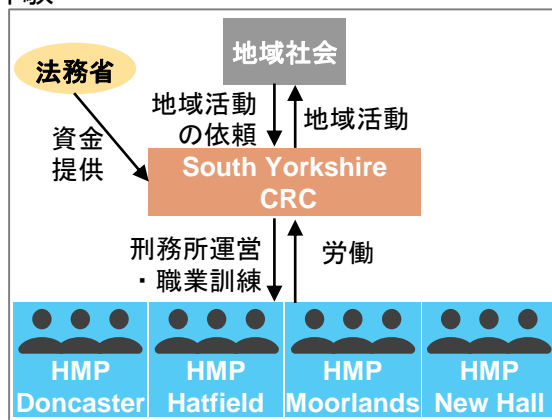
- ✓ 政府より譲渡された刑務所にて、地域の要望に沿った活動等の職業訓練を通じて社会復帰を可能にする資格を獲得できる矯正事業を実現

事業概要

刑務所	HMP Doncaster, Hatfield, Moorlands, New Hall
支援企業	South Yorkshire CRC*1(Sodexo Justice Services が運営)
所在地	イギリス・サウスヨークシャー州 (複数箇所のため航空写真は省略)
事業期間	2015年～現在
事業内容	政府より譲渡された刑務所を運営し、受刑者への職業訓練等のプログラムを通して社会復帰を目指す
プログラム内容	昼食配膳等の所内での就業体験や、チャリティーショップでの商品販売等の地域での就業体験
参加受刑者数	3,600人 (全入所者)



所内の様子



事業の特徴

受刑者の矯正を実現

- 職業訓練を通じて獲得した資格を活用して社会復帰を実現
 - 2018-19年の一年間で約1,050人が様々な職業経験による応急処置や建設等の資格を持って出所し、社会復帰を助成している

地域への貢献を実現

- 求められている場所にて求められる仕事を受刑者が担い、地域活性化を支援
 - 地域の為になることであればオンライン上で誰でも受刑者の地域活動の内容を推薦することができ、受刑者は求められる場所にて地域活動を行い地域に貢献している

事業の持続を実現

- 政府より定期的な視察があり、矯正制度等を整えることで高評価を獲得
 - 政府が資金提供するHM Inspectorate of Probationによって定期的に視察、他CRCと比較し採点されており、2020年に本CRCは高い評価を獲得している

出典: South Yorkshire CRC HP, Sodexo "South Yorkshire CRC Annual Action Plan", HM Inspectorate of Probation "An inspection of South Yorkshire CRC", The Star "South Yorkshire probation service is now 'good', say inspectors who called for improvements" CRC*1: "Community Rehabilitation Company"の略でイギリス政府が犯罪者の矯正を図る為、21社設立し、8つの企業に譲渡。

刑務所との協働事例：Central New Mexico Correctional Facility

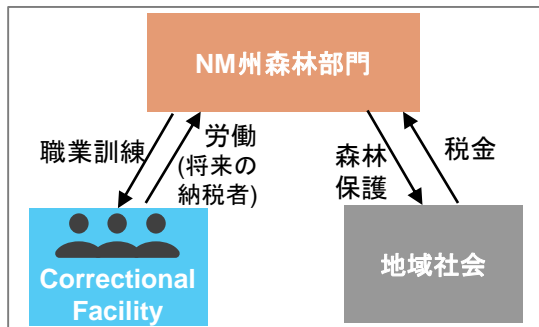
- ✓ 財政負担改善に繋がり、地域の資源を保護している森林プログラムを通じて社会復帰を可能にするスキルを獲得できる矯正事業を実現

事業概要

刑務所	Central New Mexico Correctional Facility
支援団体	NM州森林部門(Department of EMNR)
所在地	アメリカ・ニューメキシコ州
事業期間	約2000年～現在
事業内容	州が提供する森林プログラムの職業体験によって、社会復帰を目指す
プログラム内容	森林保護の技法習得 (間伐等を含む防災と災害時の消防)
参加受刑者数	不明 (All around forestry設立者が参加時は二人のみ)



元受刑者が設立した「All Around Forestry」のメンバー



事業の特徴

受刑者の矯正を実現

- 森林プログラムを通じて獲得したスキルを活用して社会復帰を実現
 - プログラムに参加した二人の元受刑者が学んだ森林保護の知識を生かして「All Around Forestry」を創業する等、森林プログラムでの職業体験は社会復帰を助成している

地域への貢献を実現

- 地域の森林の防災・消防等に貢献
 - 受刑者に森林を災害から防ぐ方法、又は災害時の消防方法を教育し、実践することで地域の森林を保護する活動に貢献している

事業の持続を実現

- 早く社会復帰し納税できる実践的なスキルを教育するプログラム
 - プログラムを受けた元受刑者が設立し、6人の元受刑者を雇用している「All Around Forestry」は、現在、法人税を支払い、州の財政負担の改善し、事業の持続に貢献している

想定される補助金メニュー等

- ✓ 事業者は省庁・地方自治体が提供する様々な補助金を活用することで、事業の初期投資等に必要な資金調達を実施することが可能

※本事業での活用を約束するものではない

資金使途 分類	補助金名/ ファンド名	所管・ 管理組織	総額/ 基金額	1件あたり想定 交付額/出資額	交付対象者
地方創生	ローカル 10,000	総務省	7億円 (2021年度)	上限2,500万円 新規性・モデル 性の極めて高い 事業は10/10	地方公共団体 (民間事業者 や大学等との 連携が前提)
地域活性化	地方を元気に する地域循環 共生圏づくり プラット フォーム事業 費	環境省	5億円 (2021年度)	-	地域や団体等、 企業等(民間企 業、協同組合、 社団法人、財団 法人、NPO、 金融機関)
地方創生	地方創生推進 交付金	内閣府	1000億円 (2020年度)	1.4~6億円	都道府県、市町村
未来技術 実証事業	未来技術を活 用した 実証事業	栃木県	200万円	実証事業に要する 経費の10分の10以 内(上限200万円)	実証フィールド を提供する事業 者